## 麻疹(はしか)の流行にご注意ください

麻疹が世界各地で流行しています。世界保健機関の報告では、昨年は一昨年の1.8倍増、特に欧州での増加が続いているとのこと。

背景にはコロナ流行期に麻疹ワクチンの接種が減って、免疫のない人が増えていることが考えられるそうです。日本では昨年複数の感染例が出て、今年になっても新たな患者が発生しています。

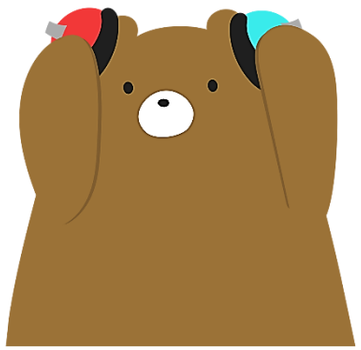
麻疹は麻疹ウイルスの感染で起こる急性感染症です。症状は発熱、咳、鼻水などの風邪症状があり、全身に発疹が現れます。免疫が低下するので肺炎や中耳炎、ときには脳炎を発症するこどもに取っては怖い感染症です。麻疹の感染力は非常に強いので、免疫を持っていない人は発症リスクが高いのです。

今はコロナ禍で旅行を控えていた人たちが大勢日本に来ています。感染を防ぐには2回のワクチン接種で確実に免疫をつけることが大切です。一度免疫がつくと一生持続しますので、今一度母子手帳を確認して接種もれのないようにしましょう。

## こどもの耳の病気に注意しよう

風邪症状や皮膚の病気は親が判断して病院を受診できますが、耳の病気は意外と見落としている場合があります。

ちいさいお子さんは感染症が原因で、中耳炎になることも。また、大きくなるまで片方の耳が聞こえなかったのを気が付かなかった例もあります。健診の際にはしっかり確認してもらいましょう。



## 赤ちゃんの肌とスキンケア

皮膚は「体を包む臓器」とも言われ、私たちが生きていくための大事な役目を持っています。その中で最も大事なのが皮膚のバリア機能。体の外の環境・刺激を感知したり、汗を出したり、水分の蒸発を防いだり、細菌などの侵入をブロックする機能もあります。

皮膚は表面の「皮脂」、その下の「真皮」、そして「皮下脂肪」から構成されていますが、赤ちゃんの場合は大人と比べて皮膚の厚さが薄く、バリア機能も未熟。そのため、肌がデリケートで乾燥しやすいのです。肌の悩みは赤ちゃんの時期から始まっています。

スキンケアは肌を清潔に(洗浄)、うるおい(保湿)、紫外線から守る(紫外線防御)が基本です。特に赤ちゃんの時期はワセリンやクリーム、乳液、ローションなどを部位によって塗り分けて肌を保護する工夫をしてください。

# 野外で遊ぼう

## 筑後の桜お花見スポット

新学期が始まるこの時期は桜の花が似合いますね。筑後地区にもお花見を楽しめる場所はたくさんありますよ。

今回は久留米市内から車で一時間以内のお花見スポットを特集してみました。天気の良い暖かい日はお弁当をもって、子ども達とお花見に行きませんか。

### うきは市、流川の桜

うきは市の巨瀬川沿いに二キロにわたって約一千本の桜並木が続きます。この時期、一斉に咲き誇る桜並木は圧巻ですよ。ピンクの桜と土手下の黄色い菜の花のコントラストが素晴らしい。桜と菜の花をバックに記念写真を撮りましょう。

土日は桜まつりも開催されて、地元の特産品も販売されているようです。駐車場は並木のそばに準備されていますが、見物客が多いのでこの時期は大混雑します。早めに出かけてください。

### 久留米市百年公園と中千出公園の桜

久留米市が市制百周年を記念して作った公園で、周辺には運動施設や青少年科学館、鳥類センター、石橋文化センターなどもあります。各施設のまわりには年数を重ねた数多くの桜があり、この時期は各所がお花見スポットになります。

駐車場やトイレも完備されているので、各施設をまわりながら桜見物もいいですね、

中千出公園はゆめタウンの東側の筑後川の土手にあります。ゆめタウンから歩いて4～5分の場所なので、買い物ついでに行くのが良いと思います。小さな公園ですが桜の密集がすごいですよ。

### みやま市、清水山の桜

みやま市瀬高町にある清水山は、天台宗の寺院である清水寺が有名。平安時代の初期に作られたこのお寺には、雪舟が作った庭も残されていて、この時期は清水山全体が桜で覆われます。

四月には「ボタン園」としても有名で、80種類約2500本が満開となります。